

# 香川県における無電柱化事業について

香川県 土木部道路課

## 1. はじめに

香川県は、日本で初めて国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の中心に位置し、四国の東北部にあります。地形は半月型で、南部には讃岐山脈が連なり、北部には讃岐平野が展開しています。河川はおおむね讃岐山脈に源を発し、北流して瀬戸内海に注いでいます。

面積は全国で最も小さく（約1,877平方km）、平地と山地はおよそ相半ばしています。北は瀬戸内海をはさみ、瀬戸大橋で岡山県と結ばれ、東及び南は徳島県に、西は愛媛県に接しています。

海岸線の延長は約724kmで、海面には多数の島が点在し、風光はまことに美しいものがあります。また、3年に一度、瀬戸内海の12の島と2つの港を舞台に、島々の文化や風土などに触れられる現代アートの祭典である瀬戸内国際芸術祭が開催されるなど、観光の面でも注目を浴びています。



～瀬戸大橋と瀬戸内海の島々～

## 2. 香川県における無電柱化の現状

本県では、国が策定した昭和 61 年度から 3 期にわたる「電線類地中化計画」、平成 11～15 年度の「新電線類地中化計画」、平成 16～20 年度の「無電柱化推進計画」及び平成 21～29 年度の「無電柱化に係るガイドライン」に基づき、整備を行ってきました。

さらに平成 30 年度に国が策定した「無電柱化推進計画」に基づいて「香川県無電柱化推進計画」を同年度に策定し、『防災』、『安全・円滑な交通確保』、『景観形成・観光振興』を目的として無電柱化を推進しています。

その中でも、「こんぴらさん」の愛称で親しまれている金刀比羅宮や瀬戸内国際芸術祭の舞台でもある直島等に代表される主要な観光地周辺においては、電柱・電線が歴史的な景観や風情を損ねており、無電柱化による良好な景観の形成が望まれています。

本稿では、本県が実施している『景観形成・観光振興』を目的とした無電柱化事業について紹介します。

### 《香川県無電柱化推進計画の概要》

#### ～無電柱化の推進に関する基本的な方針～

防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等の観点から、無電柱化の必要な道路において無電柱化を推進していくため、今後 3 年間に優先的に取り組む箇所など無電柱化推進に関する方針を定めた「香川県無電柱化推進計画」を策定する。

#### ～優先的に取り組む箇所の考え方～

##### ①防災

第 1 次緊急輸送道路において、道路管理者である国や市町の協力を得つつ、無電柱化を推進する。また、人口集中地区（D I D）内にある防災拠点とのアクセス道路及び緊急輸送道路について、無電柱化を推進する。（国道 1 1 号、県道高松善通寺線など）

##### ②安全・円滑な交通確保

バリアフリー基本構想に位置付けられた重点整備地区や、国土交通大臣が指定した特定道路において、バリアフリー化等に合わせて無電柱化を推進する。また、事故、ヒヤリハットの多い通学路において、地域住民等関係者の合意が得られた区間から、無電柱化を推進する。（県道丸亀停車場線など）

##### ③景観形成・観光振興

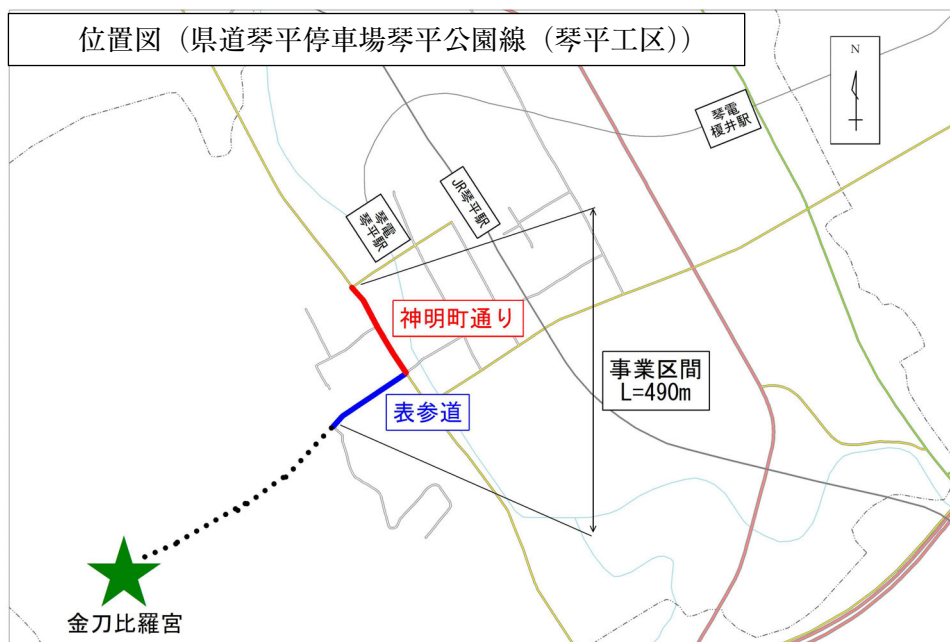
良好な景観や住環境の形成、歴史的町並みの保全、観光振興、地域文化の復興等に資する箇所については、幹線道路だけでなく、面的に整備を推進するとともに、香川県における主要観光地である栗林公園や屋島、琴平、小豆島などにおいて、無電柱化を推進する。（県道琴平停車場琴平公園線、県道高松港栗林公園線など）

### 3. 景観形成を目的とした無電柱化について

瀬戸内海国立公園・名勝天然記念物に指定されている象頭山にある金刀比羅宮は、「こんぴらさん」の愛称で親しまれ、海の安全や五穀豊穡など様々なご利益のある神様として信仰されており、年間を通して多くの参拝客が訪れる県内有数の観光地です。

しかし、金刀比羅宮までの観光ルートである県道の沿道には、土産物屋や旅館が数多く並んでいますが、地上にある電線類が周辺の良い景観を損ねており、さらに電柱が道路幅員を狭めることで、歩行者の安全な通行に支障をきたしている状況でした。

そこで、良好な景観の形成、歴史的町並みの保全を目的に、平成22年度からJR琴平駅から金刀比羅宮を結ぶ観光ルートのうち、表参道と神明町通りを合わせた490m区間の無電柱化を進めており、このうち表参道については平成26年度に完成し、現在は神明町通りの無電柱化を実施しています。

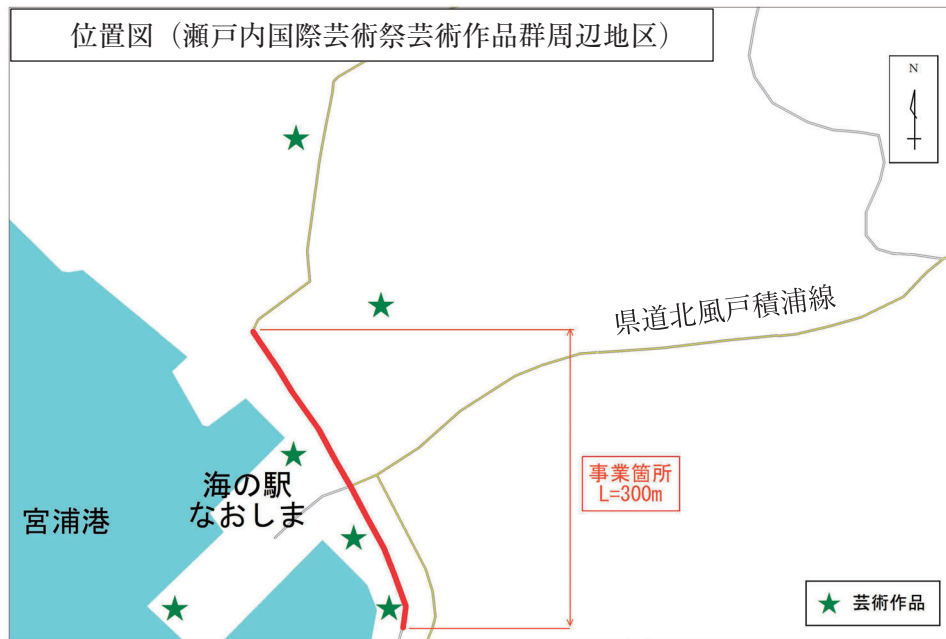


～県道琴平停車場琴平公園線（表参道）における整備事例～

## 4. 観光振興を目的とした無電柱化について

瀬戸内海に位置する直島は、3年に1度開催される瀬戸内国際芸術祭の中心的な存在で、現代アートの聖地とされ、国内はもとより、世界中から観光客が来訪しています。

瀬戸内国際芸術祭芸術作品群周辺地区は、瀬戸内海国立公園指定地域に隣接している地区であり、周辺には芸術作品が点在していますが、架空線により屋外に置かれている作品の世界観が損なわれている状況です。そこで、来訪者が各芸術作品の世界観を完全に楽しめるよう芸術作品群の周辺において令和2年度から無電柱化を進めています。



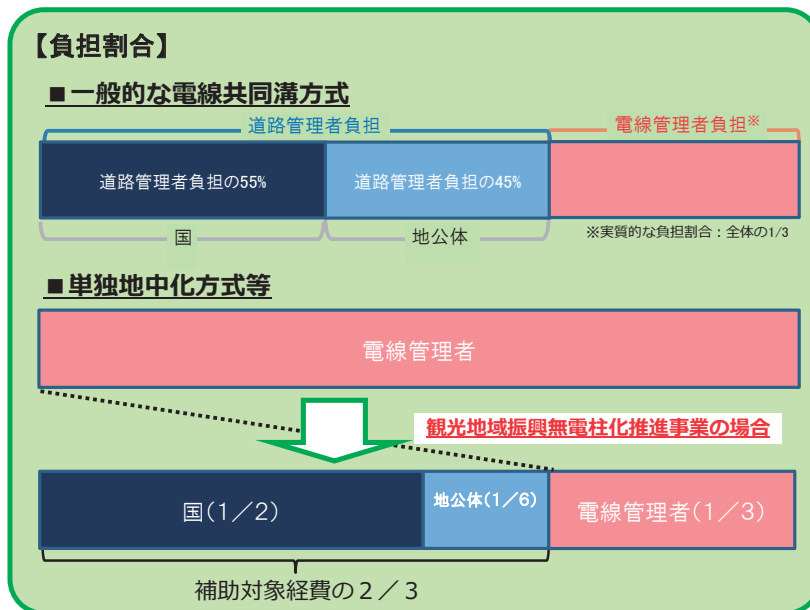
～電線類により芸術作品の世界観が損なわれている～

当事業は、観光地の無電柱化による地域振興を目的に令和元年に創設された国土交通省観光庁の「観光地域振興無電柱化推進事業」を活用した無電柱化事業として、四国で初めて事業化されました。

観光地域振興無電柱化推進事業は、地方公共団体が行う従来の無電柱化とは異なり、事業主体が地方公共団体ではなく、電線管理者であるという特徴があり、無電柱化の手法も「電線共同溝」方式ではなく、電線管理者自らが行う「単独地中化」方式となります。

電線共同溝は、事業主体が県や市などの地方公共団体のため、事業費の2/3を国と地方公共団体で負担しています。一方、単独地中化は、電線管理者自らが事業を行うので、電線管理者が全ての費用を負担します。しかし、「観光地域振興無電柱化推進事業」の場合、電線管理者が事業主体であっても、国と地

地方公共団体で事業費の2/3を補助し、電線管理者の費用負担を軽減します。さらに国による補助金の割合が従来の無電柱化事業よりも大きいため、地方公共団体の負担する割合が小さいことも特徴の一つです。



事業主体が電線管理者となりますが、道路管理者として、電線管理者と連携を密に取り合って、事業を実施していく必要があります。

## 5. おわりに

無電柱化は、無電柱化法第2条にもある「無電柱化の推進は、地域住民の意向を踏まえつつ、地域住民が誇りと愛着を持つことのできる地域社会の形成に資するよう行われなければならない。」という理念の下、県民と関係者の理解、協力を得て、無電柱化を行う必要があります。

今後も引き続き、香川県の魅力あふれる美しいまちなみを形成し、安全・安心な暮らしを確保するよう無電柱化を推進していきたいと考えています。